



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

科研費基盤研究(A)共催

第59回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2023年12月23日(土) 14:00~16:00

講師: Maria Helena Pereira Toledo Machado さん
(サンパウロ大学教授)

19世紀ブラジルの奴隷制とジェンダー

Slavery and Gender in Nineteenth Century Brazil

今回は科研費基盤研究(A)「「奴隷」と隷属の世界史—地中海型奴隷制度論を中心に」でブラジルから来日されるマリア・エレナさんに「19世紀ブラジルの奴隷制とジェンダー」と題してご講演いただきます。ブラジルは大西洋奴隷貿易の地域別統計では最大の奴隷を受け入れ、南北アメリカ大陸で最後まで奴隷制度が残った国であり、奴隷制研究ではきわめて重要な研究対象であります。本講演では、ブラジル奴隷制研究を牽引する専門家のエレナさんに、ブラジルでの最新動向を語っていただき、奴隷の家族や女性、再生産などジェンダー視点から奴隷制の社会史を論じてもらいます。

* 今回のレクチャーはオンライン開催です。右下のQRコード、または、<https://forms.gle/Ay2tzNPwwECT2r9J8>よりお申し込みください。

* 講演は英語で行われ、質疑応答を含め適宜、通訳がつきます。ふるってご参加ください。



◆講師紹介◆ サンパウロ大学歴史学部教授。ブラジルの奴隷制、奴隷解放、解放後の社会史。奴隷の抵抗、奴隷制とジェンダー、人種論などの研究多数。主要業績に Brazil Through the Eyes of William James, 1865-1866 (2006); From Slave Rebels to Strikebreakers : The Quilombo of Jabaquara and the Problem of Citizenship in Late-Nineteenth-Century Brazil, in Hispanic American Historical Review, vol. 86: 2, 2006 (article,)など。



- 司会&コーディネーター: 貴堂嘉之(社会学研究科・教授)、清水和裕(九州大学人文科学研究院・教授)
- オンライン ZOOM 開催(申し込みフォームにご記入いただいたアドレス宛に講演3日前にリンクを送信いたします。 講演3日前を過ぎてもリンクが届かない場合は下記メールアドレスまでお問い合わせください)
- 共催: 科研費基盤研究(A)「「奴隷」と隷属の世界史—地中海型奴隷制度論を中心として」
一橋大学大学院社会学研究科ジェンダー社会科学センター(cgrass@soc.hit-u.ac.jp)